

戦前・戦中期の 鹿児島における 女子教育に関する研究

発表者

佐藤宏之（教育学系）
金井静香（法文学系）



鹿児島市立鹿児島女子高等学校に、その前身である鹿児島市立女子興業学校の同窓会報「帰厚月報」が、昭和9年(1934)5月3日発行の第1号から昭和19年(1944)3月10日発行の第116号まで所蔵されている。

これらは戦前・戦中の女子教育を、ジェンダーの視点から通時的に復元することができる貴重な資料である。しかし、その保存状況は極めて厳しい。

本プロジェクトは、デジタル化によって資料の保存・活用の基盤を整備し、データベース化によって利活用の基礎を構築するとともに、同窓会報に歴史資料としての新たな価値を創出するものである。

1 導入

これまで、学校資料というと学校の歴史を知るために、学校にある(あった)資料にばかり注目が集められていた。現在では、そればかりではなく、地域住民の学業・生業・生活などに関わる地域資料として、個人や地域にある(あった)学校関連資料にまでその範囲が拡大し、PTAや同窓会などの資料へも関心が寄せられるようになってきている。

同窓会報は、ある特定の学校に在学した者同士だけが情報を共有することができる、読者が極めて限定された雑誌メディアであり、同窓会組織が学校組織とともに編集作業を行い、発行する雑誌メディアである。

そのため、同窓会組織と学校組織が在校生と卒業生に「知らせたい」「伝えたい」内容を選別し、掲載しているという特徴をもつ。

2 目標

同窓会報に何が載せられ(語られ)、主張されているのか/同窓会組織と学校組織が望む女性像を解明

3 方法

- ①「帰厚月報」(昭和9年(1934)5月3日発行第1号～昭和19年3月10日発行第116号)・「帰厚会報」(昭和51年(1976)3月3日発行第37号～昭和58年2月27日発行第44号)をOCRによる文字情報の電子化のためスキャナーを用いてデジタル化を行った。
- ②各号の記事の細目を採り、検索可能なデータベース(Excel版)を作成した。
- ③『職員録』から教員構成の復元、『鹿児島県統計書』、『全国高等女学校実科高等女学校二関スル諸調査』などの資料収集を行った。また、「鹿児島市立女子興業学校創立四十周年記念誌」第8号(昭和10年(1935))、「明治三十一年(1898)編沿革史鹿児島県曾於郡岩川高等小学校」、「明治三十二年十二月沿革誌稿曾於郡末吉高等小学校」、「志布志小学校学校日誌(大正2年(1913)2月～大正13年3月)」、「志布志女子実業補習学校日誌(大正6年5月～大正7年2月)」を新たに発見するに至り、その資料の保全および翻刻作業を行った。



OCRによる文字情報の電子化のためスキャナーを用いてデジタル化

各号の記事の細目を採り、検索可能なデータベース(Excel版)を作成

『職員録』昭和9～18年(1934～43)による教員構成の復元



「鹿児島市立女子興業学校創立四十周年記念誌」第8号(昭和10年(1935))
「明治三十一年(1898)編沿革史鹿児島県曾於郡岩川高等小学校」
「明治三十二年十二月沿革誌稿曾於郡末吉高等小学校」
「志布志小学校学校日誌」(大正2年(1913)2月～大正13年3月)
「志布志女子実業補習学校日誌」(大正6年5月～大正7年2月)

新たな資料の発掘と翻刻

4 結論

◆女子教育への期待

良妻賢母/「女らしさ」/銃後の女性の育成
女性の自立/自己実現/リーダーシップ/社会進出/社会貢献

◆女子教育の現在

国内：女子校数の減少=共学化(少子化/長引く不況/男女平等社会の実現のためなど)
国外：男女別学化(男女の学力差を埋めつつ、それぞれの能力を伸ばす)

5 発展

- ◆繰り返される散逸・廃棄
- ◆同窓会報の資料的価値がわからない
- ◆学校組織からみえる女子教育
- ◆同窓会組織と学校組織の移り変わり
- ◆女子教育の意義と役割に揺らぎ



- ◆散逸・廃棄の加速化をくい止める
- ◆同窓会報に多面的な価値(学校的アイデンティティ・教材化など)を見いだす
- ◆学校組織と同窓会組織を介してみえる女子教育
- ◆同窓会組織と学校組織の将来的な関係性を構想
- ◆女子教育の意義と役割を再定義(未来の女子教育を構想/国際比較研究へ)

関連文献

黄順姫『同窓会の社会学：学校的身体文化・信頼・ネットワーク』(世界思想社、2007年)

地方史研究協議会編『学校資料の未来：地域資料としての保存と活用』(岩田書院、2019年)

井上好人「明治期高等女学校卒業生における同窓会活動の意味と機能：石川県第一高女同窓会誌の「会員消息」記事の分析から」『教育社会学研究』第83集、2008年

土田陽子「公立名門高等女学校の同窓会誌にみる「あるべき女性像」：県立和歌山高等女学校と府立京都第一高等女学校の比較分析から」『京都大学グローバルCOE「親密圏と公共圏の再編成をめざすアジア拠点」WorkingPaper次世代研究』第74号、2012年